



NEUMANN のオーディオインターフェイス「MT 48」が Dante に対応

オランダで開催された IBC2024 に出展

2024 年 9 月 25 日

ゼンハイザー・ジャパン株式会社

(本資料は、ベルリン 2024 年 9 月 13 日に Georg Neumann GmbH より発表されたプレスリリースの抄訳です)



スタジオ機器の伝説的スペシャリストである Neumann.Berlin（以下、当社）は、2024 年 9 月 13 日～16 日にオランダのアムステルダムで開催された国際放送機器展「IBC（International Broadcasting Convention）2024」（以下、IBC）で、Dante 対応オプション（以下、Dante Ready™）を備えたオーディオインターフェイス「MT 48」を出品しました。プロオーディオ向けのデジタルオーディオネットワークシステムである Dante は Audinate 社が開発した主要な Audio-over-IP（AoIP）規格で、特にライブ用途とインストレーションに適しています。Dante Ready™のオプションにより、MT 48 は、世界の 600 以上のメーカーの 4,000 以上のデバイスと互換性を持つようになります。今回、MT 48 が Dante 環境との簡単な統合が実現したことで、ハブやモニターのコントローラーおよびミキサーとして機能するようになります。



今回の Dante 対応は、お客様重視の当社の姿勢を示すものであり RAVENNA/AES67 に対するノイマンの取り組みに影響を及ぼすものではありません。どちらの AoIP 規格も、ユースケースに応じて、独自の利点を持っています。当社では、お客様それぞれのニーズに合った最適なソリューションをお選びいただくために、[FAQ ページ](#) を公開しました。

Dante Ready™は Audinate 社のネットワーク規格を利用できる一方で、Dante を必要としないお客様には追加費用は発生しません。生産の段階では、MT 48 は引き続き RAVENNA/AES67 ファームウェアがプレインストールされて出荷されます。代替の Dante ファームウェアは、当社より無料で提供され、MT Portal アプリケーションを使って簡単にインストールすることが可能です。Dante を利用する場合は、8/8 または 64/64 のチャンネル I/O ライセンスの購入が必要となります。

2024 年第 4 四半期以降は、最新の MT 48 が追加料金なしで Dante Ready™となります。一目で識別できるよう、Dante Ready™のユニットは、パッケージとデバイス本体の底面に Dante Ready™のステッカーが貼り付けられます。

購入済みの MT 48 で Dante の利用をご希望のお客様は、[FAQ](#) でサービス手順情報をご覧ください。詳細については、改めて当社よりアナウンス予定です。

■Neumann について

「Neumann.Berlin」の名で知られる Georg Neumann GmbH は、スタジオグレードのオーディオ機器に特化した世界的なトップメーカーであり、U 47、M 49、U 67、U 87 をはじめとする録音用マイクロフォンの伝説的名機の生みの親としても知られています。1928 年の創業以来、Neumann.Berlin は数々の技術的イノベーションを起こし、いくつもの国際的な賞を授与されてきました。専門は電気音響変換機の開発ですが、2010 年よりテレビやラジオ放送、録音、オーディオ制作といった市場向けのスタジオモニター製品開発も手掛けています。Neumann 初のスタジオヘッドフォンは 2019 年初頭にリリースされ、2022 年以降はライブオーディオ用の、リファレンスクラスのソリューションに力を入れています。Georg Neumann GmbH は 1991 年より Sennheiser グループの傘下に入り、製品は現在、Sennheiser が世界中で展開する拠点ネットワークのほか、長期的な関係を構築してきた販売代理店を通じて各国で販売されています。

■当プレスリリースに関するお問い合わせ：

ゼンハイザージャパン株式会社 広報担当

株式会社ブレインズ・カンパニー

担当：中村・西田・本郷・齋藤

TEL：03-4580-9156 / MAIL：sennheiser@pjbc.co.jp